

平成 21 年 5 月 14 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：平成 18 年度～平成 21 年度

課題番号：18530207

研究課題名（和文）東アジア共同体形成の核としての ASEAN 域内経済協力の新展開

研究課題名（英文）New Development of Intra-ASEAN Economic Cooperation

研究代表者

清水 一史 (SHIMIZU KAZUSHI)

九州大学・大学院経済学研究院・教授

研究者番号：80271625

研究分野：世界経済・東アジア経済

科研費の分科・細目：経済学・経済政策

キーワード：ASEAN、域内経済協力、ASEAN 経済共同体（AEC）、AFTA、AICO、ASEAN 憲章、東アジア地域経済協力

## 1. 研究計画の概要

（1）本研究の目的は、「現在進行中の東アジア共同体の形成において核となる、ASEAN 域内経済協力の新たな展開を研究する」ことである。すなわち、これまで進めてきた ASEAN 域内経済協力の長期的な分析の上に、新たに急速に展開している ASEAN 域内経済協力（AEC：ASEAN 経済共同体）の分析を行う。

（2）以下の年度計画で進める。①平成 18-19 年度：関連図書や資料の収集、外国調査・国内調査を積み重ねる。適宜、資料整理を行い、研究会の開催等を重ねていく。②平成 20 年度：研究の蓄積の上に、成果発表を重ね、全体の成果をまとめる作業にかかる。③平成 21 年度：最終年度は、成果の発表と報告書の作成を中心とする。

## 2. 研究の進捗状況

当初研究計画に従って研究を進め、以下のような AEC を中心とした多くの成果を得た。

（1）ASEAN 域内経済協力に関する「世界

経済の構造変化と ASEAN」等の日本語論文を 3 本、英語論文を毎年で計 3 本、計 6 本の論文を刊行した。またアジア政経学会編の本（『現代アジア研究：越境』）の第 2 章（東アジアの地域経済協力と FTA）等を執筆した。また英語の本の 1 章も執筆した。

（2）ASEAN と東アジア地域経済協力に関して、学会での報告、コメント、座長等を行った（日本国際経済学会、アジア政経学会、東南アジア学会等）。

（3）「第 6 回福岡アジア国際会議(Asian International Forum in Fukuoka)：成長するアジアの課題と地域連携」（ポスト・サミット蔵相会議。東アジア 11 カ国と EU の最有力シンクタンクの代表による会合）の第 2 部「アジアの政略的産業育成－自動車産業の今後」のコーディネーター(座長)並びに第 3 部総合討論のパネリストを勤めた。ASEAN・日本・中国の自動車産業と経済関係を分析するため、第 1 回日中自動車産業研究会（北京）を立ち上げ、総合司会を勤めた（2008 年には第 2 回）。また名古屋大学国際

経済政策研究センターと共催の第3回・第4回東アジア経済ワークショップ（東アジア地域協力）を座長として主催した。JETROとの第1回ワークショップ「ASEAN経済共同体（AEC）と東アジア」を座長として主催した。

（4）東京大学社会科学研究所の地域主義の比較研究プロジェクト（CREP）の研究委員にも就任しASEANやEUの比較共同研究を進めた。2008年度から日本貿易振興機構（JETRO）のAEC研究委員にも就任し、AECに関する共同研究を進めてきた。

### 3. 現在までの達成度

① 当初の計画以上に進展している。  
理由：現在、AECに関する当初の研究予定をほぼ達成しつつある。かつ東大社会科学研究所の比較地域主義プロジェクトや、ジェトロとのAECプロジェクトをも行い、当初の予定以上に、AECを中心とするASEAN域内経済協力の新たな展開の研究が進展している。ただし更にAECが進展し、研究課題が生まれてきている。

### 4. 今後の研究の推進方策

（1）比較地域主義プロジェクトの出版に関与する。またジェトロのAECの本の出版に従事する。

（2）これまでの成果を学会等にて報告する（アジア政経学会等）。

（3）更に、AECに関する最近の新たな研究成果をまとめていく。

### 5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計6件）

- ① 清水一史、世界経済の構造変化とASEAN、『経済学研究』（北海道大学）、査読無、58巻3号、2008、pp.73-84
- ② SHIMIZU, Kazushi, ASEAN Charter and Regional Economic Cooperation, *Economic Journal of Hokkaido University*, 査読有, Vol.38, 2008, pp.55-81
- ③ 清水一史、東アジアの地域経済協力とASEAN憲章、『韓国経済研究』、査読有、7巻、2008、pp.131-144

- ④ SHIMIZU, Kazushi, East Asian Regional Economic Cooperation and FTA, *Economic Journal of Hokkaido University*, 査読有, Vol.37, 2007, pp.73-96
- ⑤ SHIMIZU, Kazushi, The First East Asia Summit (EAS) and Intra-ASEAN Economic Cooperation, *Economic Journal of Hokkaido University*, 査読有, Vol.36, 2006, pp.131-144.
- ⑥ 清水一史、第1回東アジア首脳会議の成果と展望：ASEAN域内経済協力の視点から、『韓国経済研究』、査読有、6巻、pp.85-96

〔学会発表〕（計6件）

- ① 清水一史、ASEAN域内経済協力・統合の課題、国際貿易投資研究所（ITI）FTA研究会、2009年2月、東京
- ② 清水一史、東アジア憲章案の評価：ASEANと域内経済協力の視点から、東京大学社会科学研究所（比較地域主義研究プロジェクト）、2009年2月、東京
- ③ 清水一史、東アジアの地域経済協力とFTA、日本貿易振興機構（JETRO）ASEAN経済共同体（AEC）研究会、2008年8月、東京
- ④ 清水一史、ASEAN憲章とASEAN域内経済協力、国際貿易投資研究所（ITI）FTA研究会、2008年2月、東京
- ⑤ 清水一史、ASEAN憲章の評価：域内経済協力の視点から、東京大学社会科学研究所（比較地域主義研究プロジェクト）、2007年12月、東京
- ⑥ 清水一史、東アジアの地域経済協力、東南アジア学会ジャカルタ例会、2007年2月、ジャカルタ

〔図書〕（計4件）

- ① 石川幸一・清水一史・助川成也編、日本貿易振興機構（ジェトロ）、『ASEAN経済共同体（AEC）』、近刊
- ② Nakamura, T.(ed.) (Chapter 1: Shimizu, K.), Routledge, *Legal Vision of Future East Asian Regionalism (Chapter 1: East Asian Regional Economic Cooperation and FTA)* (forth coming)
- ③ アジア政経学会編（佐藤幸人・高原明夫・田村慶子編）（第2章：清水一史）、慶應義塾大学出版会、『現代アジア研究：越境』（第2章：東アジアの地域経済協力とFTA）、2008年、472ページ（25ページ）
- ④ 川島真編（第9章：清水一史）、山川出版社『中国の外交』（第9章「中国とASEAN：東アジアの地域協力の視点から」）、240ページ（20ページ）